

玉穂ふれあい診療所の医療は徐々に変わってきています。

2003年7月に緩和ケアが必要ながん終末期の患者さんの入院施設としてスタートしましたが、11年間経過した今は、人生の最期を迎えるすべての人々のための医療を入院、在宅、施設で行うようになりました。

最近「がん」と同時に認知症が大切な課題になっています。認知症は誰もがなりたくない病気です。そして、認知症は死に至る病気です。徐々に体力が衰え、最後に食物を摂ることができなくなり死にます。「老衰」です。

人＝生き物は必ず死にます。

自分の死をどのように迎えるか？

自分の死をどのように創るか？

まだ、元気なうち、自分の頭で考え判断できるうちに考え、家族や周囲に伝えておく「事前指示」が大切です。

これは、生き物の中でも人間だけができることです。

今を楽しく元気で生きる。友達を作り、一緒に楽しむ。

そして、「死」についても一緒に考える。

高齢者が増え、人口が少なくなっていく、今必要なのはそうした仲間だと思います。

「医療法人どちペインクリニックの医療を支援する市民の会」に支えられて、私たちは医療を行ってきました。地域の人々に支えられ、地域と共に歩む医療は、この「支援の会」があったからこそ出来てきたと思います。

これからの医療は、個々の患者さんだけを診ていれば解決する問題ではありません。認知症、要介護者の増大、大規模災害への備えなど、地域ぐるみでの取り組みが必要です。市町村(行政)と医師会が多職種の方々と協力共働で取り組んでいかなければなりません。

医療法人どちペインクリニックの医療もそのような位置づけにあると考えています。

どうぞよろしくお願い致します。

2014年12月

医療法人どちペインクリニック

理事長 土地邦彦



開催日 決定 第13回  
DPCホスピス祭り

2015年5月24日(日曜日)

医療法人どちペインクリニックのホームページを絶賛更新中！  
URL: <http://www.dpc-hos.or.jp>

## 編集後記

日増しに寒さが身にしみる季節になりました。記念講演では、カンボジアの現状を通して、「平和の尊さといのちの重さ」を改めて考えさせられる貴重な講演でした。また、今回、支援の会メンバーも新役員を迎えました。新しいパワーをもらい、新たな気持ちで、これからも支援の輪を広げていきたいと思っています。

# つくしんぼ

第28号

日本各地で“災害”が頻繁に起こるようになってしまいました。山梨のお隣の長野県でも、最大震度6弱を記録した白馬村を一帯とした長野北部地震が起こりました。死者こそいなかったものの負傷者や家屋の全半壊等の被害が出ました。広島のと砂災害でも、また御岳山噴火でも多くの犠牲者と被害が出ました。

このように各地で災害が起きようになると考えなければならないことは、天災の部分と人災の部分です。天災に対して我々人間は力があまりにも弱く、大自然の仕組みをもっと正しく謙虚に受け止めなければなりません。また、人災の部分では日頃の生活文化の中で何か忘れていたものがありやしないか根っこから反省すべきです。

ところで、人間のいのち(寿命)にしても、我々手の届かないところで大きく回っているような気がします。その与えられた寿命をその人らしく精一杯生きるというのが、終末期医療の根本だろうと思います。

いま、医療法人どちペインクリニックの玉穂ふれあい診療所における終末期医療(ホスピス)は、患者様その人の人生の最終楽章完全燃焼のために尊いホスピスケアが行われています。

先日はある患者様が宗教の話(死後の世界)を聞きたいという事で、病室にお邪魔しました。その方はご自分のお好きなマーラーの「大地」の“惜別”が聴きたい。そして聴きながら宗教の話をしたいというご希望でした。日を改め「大地」の“惜別”を聴きながら、その方の生きてこられたいろいろの思いをお聞きしました。何回か尊い時間を作り、最期はその方の大好きな“惜別”の曲をかけながら、臨終のご回向を勤めさせていただきました。

これが医療法人どちペインクリニックの 患者のいのちに寄り添う医療のひとつだろうと思います。

いま 大勢の方々の尊いご理解とご支援のもとに、医療法人どちペインクリニックのホスピスを支援する市民の会は、いろいろな形で活動を進めております。最近残念なことに会員数が減少してきました。一般会員も特別会員も含め、今一度原点に戻って支援の会の活動を進めてまいりますので、会員の皆様方におかれましても、趣旨をご理解の上、ホスピス啓蒙活動にご理解いただき、会員増強にご協力をお願いいたします。日頃のご支援に心から感謝申し上げます。

医療法人どちペインクリニックのホスピスを支援する市民の会

代表 吉田 永正





2015年度

# ホスピス カレンダー

医療法人どちペインクリニックにかかわる大勢の皆さんの  
幸せを願いながら、ボランティアの皆さん、仕事を終えて  
疲れていてもニコニコしている医療スタッフの皆さん、統括  
師長の講演に感動した中学生の皆さん、入院中の患者さん、  
付き添いの家族の皆さん、外来へお見えになる皆さん、ご  
近所の皆さんなど、とにかくさまざまな方の心の思いが祈り  
込められ、一枚一枚手作りで仕上げたものです。

## 表紙

カレンダーの表紙は大晦日の晩まで貼っておきます。それ  
は この1年の反省! ハラハラドキドキの1年だったでしょ  
うか。大きな壁はなかったでしょうか。落とし穴は?“大丈夫  
なんとか成る”……その思いで来年に向けて新たな気持ちで  
進めば 乗り越えれない試練はないと思います。

さあ 新しい年に向かって頑張りましょう!



## 5月・6月

自分の今生きている姿や生活に 感謝するとともに誇りを  
持ちましょう。自分の価値を見つけましょう。探せばきっと  
いいものがあるはず。気が付かないのはひょっとして貴方  
だけ? なんだっていいんです。今の自分で。気にしない!  
何でもない! と大きな心で前を向いて生きていきましょう。

## 7月・8月

世の中はいいことづくめとは限らない。納得のいかないこと  
やうまくいかないこと予期せぬ出来事なんて当たり前。要は負  
の連続! それだけでゲップが出てくる。

でも 考えようでマイナスもプラスに転じる。そのエネルギー  
の基は自分! 即ち頭の切り替え! ここで価値観が変わる。



## 1月・2月

見えている範囲(現実の世界)は 限りのある範囲。心を  
静かにして目を閉じると 見えてるものの後ろや横 それに因  
果関係までも見えてきます。物事を点で捉えるのではなく線分  
で できれば面で できれば立体で さらに大きな空間でと  
らえていくと 素晴らしい無限の可能性が広がってきます。



## 9月・10月

主人公というのは 何も主役ばかりじゃない! 脇役がいな  
ければ主人公は成立しない! 脇役は立派な真の主役!

自分がどう生きたかが大きな問題。みんなその人らしく精  
一杯生きているんだから 人生って尊いもの。それを正しく  
認めることが大切。



## 3月・4月

どうしても 世間体や周りを気にしてしまいがち。だから不  
平不満も 愚痴までも出てきてしまう。感謝の心さえ忘れて  
しまう。それがやがて大きな疲れになり 心まで病んでしまう。  
もっともっと 美しいものを追いかけて 正しいものを求めて感  
謝の心で素直に生きれば 本当にこの世は楽しい!  
身も心も素直だと 生き活きてくる。  
それが人間らしく生きる秘訣!



## 11月・12月

人生は気象情報みたいなもの。時には台風もあれば 暴風  
もあり 時化もあれば凧もある。落雷もあつたり 豪雪もあ  
る。でも 春うららかな日和も晩秋の小春日和もある。なん  
でも我慢 ガマン!

それらに耐えてこそ 輝く光が見えてくる。





## 2014 定期総会記念講演

### 地球に生きる ～平和の尊さといのちの重さ～

カンボジア支援の報告 報告者：小田切 佳 仁  
命を考える 講 師：土 地 邦 彦

去る平成26年11月15日(土)に「DPC ホスピスを支援する市民の会」主催による記念講演が開かれました。8月中旬に法人を代表して、カンボジア支援に行った小田切佳仁看護師より報告がありました。残虐なポルポト政権がどんなものだったのかが、分かり易く説明され、実際の眼で見てきた戦争の傷跡の映像に大きなショックを受けました。テレビやニュースで見るのとは違って、直接目で見てきた生の声を聴き、カンボジアの悲惨な状況をより身近な事として感じる事が出来ました。今を生きる子供たちの眼は皆輝いていましたが、今、この時も戦争の爪痕に命が曝されている現実を直視しなければいけないと思いました。たくさんの子供たちが集まったお祭りでは、一人の少年が照れながらも太鼓を叩き、歌や音楽で笑顔になる動画は心が和みました。平和・平穏な暮らしの尊さを身に染みて感じる事が出来ました。その後、土地理事長の講演では、「いのちの重さ」をグローバル(地球規模)な視点で捉えること、自分自身の身の回りの事からもっと視野を広げることの大切さを聞きました。戦争や争いの無い平和な将来を、子供や孫たちに保証できるように、今、自分のいのちを輝かせたいと考えさせられました。

田邊 玲子



### 今年度の支援の会新役員です。よろしくお願いします

【代 表】 吉田 永正  
【副代表】 一瀬 明  
長田 牧江  
佐野 しげ子  
【事務局長】 小田切 佳仁  
【監 事】 田辺 陽一  
小泉 文一  
【顧 問】 坂本 初男  
【相談役】 土地 邦彦

【運営委員】 富永 弘徳  
垣内 律子  
佐野 利恵子(法人内事務局長)  
田邊 玲子  
小澤 敏幸(会計)  
井上 三紀子(会計)  
新 五味 亜紀子  
新 加賀美 公一

## 新入職員の紹介

診療所に新しい仲間が加わりました!!

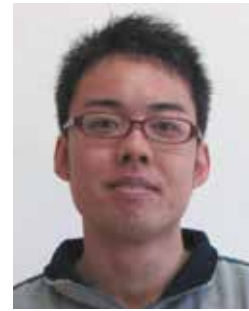
どうぞよろしくお願い致します



荻原 亜矢子  
(病棟看護師)



長澤 紀子  
(病棟アシスタント)



山岡 義明  
(作業療法士)

## 一緒にDPCホスピスを支援しませんか

医療法人どちペインクリニックのホスピスを支援する市民の会のご案内

医療法人どちペインクリニックのホスピスは人間としての生命の輝きを保証します。だれでも、いつでも、自己決定で自分らしく生きることを保証します。

支援の会では、DPC ホスピス運営資金の募金活動を行っております。

DPC ホスピス運営のためにボランティア活動を行っております。

ホスピスの啓蒙運動を行っております。

そのために広く会員を募集しております。

一般会員：2,000円 年会費

賛助会員：1 口 1 万円以上（個人会員、法人会員）

会費納入先：郵便振替口座 00200-7-115283

入会手続きは、下記の申し込み書を郵送、FAX、または電話でお申込みください。

医療法人どちペインクリニックのホスピスを支援する市民の会

〒409-3815 山梨県中央市成島2439番1 玉穂ふれあい診療所内

TEL：055-278-5670 FAX:055-278-5671

### DPC ホスピス支援の会 新規会員入会申込書

☐ 一般会員

円

氏 名：

☐ 賛助会員

電 話：

個人会員：1口1万円

会社名：

口

円

代表者：

法人会員：1口1万円

口

円

住 所： 〒